

大学名：愛知教育大学

ASPUnivNet の 4つの機能他	評価項目	事例記述
1. 学校のユネスコスクール加盟を支援します(加盟に関する相談も含む)	① ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。	ユネスコスクール加盟希望の学校からの相談について、個別に対応した。(オルタナティブスクール惟の森)
	② ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。	西尾市立福地南部小学校からの相談に対応した。
	③ 地域の加盟済のユネスコスクールに向けてESD/SDGsをリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。	愛知県ユネスコスクール指導者研修会を開催し、県内外のESD/SDGsを実践する学校の事例紹介を行うと同時に、最新の情報提供を含む講師による講演を行っている。 愛知県教育委員会が主催するユネスコスクール支援会議に参加し、愛知県におけるESD/SDGsの活動支援協力や推進を行っている。 愛知県教育委員会と連携し、ユネスコスクール支援事業に積極的に協力をを行っている。
2. 大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します	① 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援(資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど)を行うことができた。	愛知県ユネスコスクール支援会議において、資料提供や情報提供を実施している。 愛知県のユネスコスクール交流会と本学主催のユネスコスクール指導者研修会を合同で開催し、県内の教員に向けて効果的な情報提供や事例紹介を展開している。 愛知県のユネスコスクール支援事業に本学の教員が講師として協力している。 本学の教員や学生がESD/SDGsに関する教材や指導法のワークショップを展開している。
	② 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。	愛知県のユネスコスクール交流会と本学主催のユネスコスクール指導者研修会を合同で開催し、県内の教員に向けて効果的な情報提供や事例紹介を展開している。 愛知県のユネスコスクール支援事業に、本学の教員が講師として協力している。 本学の教員や学生が、ESD/SDGsに関する教材や指導法のワークショップを展開している。
	③ 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。	企業と連携し本学教員がESD/SDGsに関する教材を開発中であり、開発中の教材については地域のユネスコスクールに協力を仰ぎ、試行実験を行いながら作成することとしている。
3. 地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します	① 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	愛知県教育委員会主催によるユネスコスクール支援会議の一員として、学校、企業、関連団体と情報共有を行っている。 愛知県が開催したSDGsに関するイベントで、生物多様性教材、SDGs教育プログラムを紹介するブース出展をするなど普及啓発につとめた。
	② ユネスコスクールと地域の多様なステーク	Aichi SDGs EXPOにて開催されるユネスコスクール交流会に参加する学校に、エキスポに出展

	クホルダーとを結びつけることができた。	する自治体、企業とのマッチングなどの支援を行っている。
	③ ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。	愛知県教育委員会主催によるユネスコスクール支援会議の一員として、学校、企業、関連団体と情報共有を行っている。 小牧市教育委員会が推進する小牧市小・中学校のSDGs活動へ本学教員が指導・支援協力を行っている。
4. 国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します	① 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた	ユネスコスクール指導者研修会にて県外のユネスコスクールによる事例紹介を行うと同時に、県外のスクールに愛知県の活動事例を紹介した。
	② 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。	ユネスコスクール指導者研修会にて県外のユネスコスクールを招聘し、県外の事例紹介を行うと同時に、県外のスクールにも活動事例を紹介した。
	③ ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。(例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など)	特になし(各地域のコーディネーターや教育委員が独自に支援などを行っており、定着化しているため、本学に対する支援要望などはなかった。)
5. 大学内の活動	① 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。	本学の教員が実施する講義において、本学のユネスコスクール活動などの紹介や、県内におけるユネスコスクールの状況について周知している。
	② 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。	学部講義においては、人権、民主主義の理解と促進や異文化理解、環境教育、ESD、地域の文化遺産や防災・減災教育を扱った授業を行っている。
	③ 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。	ユネスコスクール担当教員の専門性がユネスコスクールに特化したものではないため、ユネスコスクールに限定した調査研究活動は行っていない。
	④ その他	愛知県内で行われているユネスコスクール校でのESD発表や授業公開などに積極的に参加し、本学の状況などを紹介している。

6. ASPUnivNet のネットワーク機能の活用	① 加盟大学間で情報共有ができた。	東海エリアの中部大学や三重大学のユネスコスクール担当者と相互に情報交換を適宜行っている。
	② 加盟大学間で連携した取組ができた。	ユネスコスクール指導者研修会にて県外のユネスコスクールを招聘する際には、加盟大学間で相談をし、実践発表校の選定を行った。
	③ その他	